

子どもの自立・就職に向けて
親ができることを一緒に考えてみませんか？

参加無料

～保護者セミナー～

開催日時

平成31年 **3月16日(土)**

時間：10:00～12:00

会場：福井県社会福祉センター(福井市光陽2-3-22)



講師：福井県総合福祉相談所 精神保健福祉士
瓜生 由美子 氏

テーマ：「もっと自分について理解を深めましょう！
まずは親ごさんから」

内容：講師によるセミナー・意見交換ほか

対象：無職のお子さんを持つご家族の方

定員：20名(事前にサポステふくいまで申し込み下さい)

【機関紹介】

「福井県総合福祉相談所」は、県民が心身ともに健康に過ごせることを目的に、人間関係や心身の不調などこころの相談に応じるほか、精神保健に関わるセミナーの開催や、自助グループの運営に携わっています。

特に、相談窓口になっている「ホッとサポートふくい」には、専門の職員による「ひきこもり地域支援センター」があり、ひきこもり状態にある方やご家族の支援をしています。



日時：平成31年1月19日(土) 1月開催のセミナーレポート

テーマ：「自立に必要なものは何？ いっしょに考えてみませんか？」

講師：スクラムふくい 副センター長 野村 昌宏 氏

野村先生は、スクラム福井の紹介のあと、相談者の事例を挙げて、「人はみな特性がある」こと、その偏りが、発達障がいと言われるものであり、職場でどんな特徴として現れたか話されました。特に、ご本人への言葉かけで気を付けることや、関わる時の基本姿勢として「バイステック7原則」を取り上げました。人は予期不安や自動思考によってとらわれるために、自分を客観視できずに好ましい行動をとることができなくなります。しかし、緩やかな体験のなかで、「不安」と大丈夫という「安心」を繰り返すことでネガティブな思いを克服することができると先生は言います。

後半は、参加者の皆さんから、家庭でのお子さんとの関わりの中で困っていることを話してもらいました。これまでの経緯もあり、親として心配しているが、本人の気持ちや何を考えているか全くわからないという状況でも、ご家庭によっては、言葉遣いや態度に工夫され、少しずつ変化が見られること。また、家庭が本人にとって安心できる場所であると思えることが何よりの救いになることなど、他のご家庭でもヒントになるようなお話がありました。先生も親御さんの苦労を労いながら、共に悩み、アドバイスされ、他の参加者の方の言葉に耳を傾けていました。

話の流れが出来てきたところで時間が来てしまいましたが、意見交換の時間ではご家族からいろいろな話を聞くことができました。これからも、このような機会を大切にしていきたいと思えます。

サポステふくいは、厚生労働省の委託事業で、福井県との協働で若年無業者の方の職業的自立支援を行っています。

ふくい若者サポートステーション (サポステふくい)

福井市光陽2丁目3-22 TEL: 0776-21-0311

(受付時間 月～金 9:00～17:00) E-mail: info@fukui-yss.com